

本資料集を推薦します (50音順・敬称略)

時代の息づかいが伝わる

東京大学名誉教授 稲上毅

協調会は大正末期から敗戦直前にかけて膨大な都市・農村生活調査を行った。それらは時代の息づかいをいまに伝えるまことに貴重なものであるが、その後復刻されることもなかった。この資料集成は法政大学図書館所蔵の「協調会文庫」関連実態調査すべてを精査して編まれたものであり、関係学界に裨益するところ大であるにちがいない。

なぜこれまで利用されてこなかったのかが不思議

麗澤大学教授 櫻井良樹

私はかつて、廣池千英という協調会職員として添田敬一郎の秘書をつとめ、調査活動に従事した人物の資料を整理したことがある。その中に「農村問題資料」や「労働事情調査報告」などが混ざっていた。整理の過程で法政大学の協調会文庫を見学したときに、その全貌を知り、こんな内容の豊富な資料群が、あまり利用されてこなかったことを残念に感じ、復刻されるべき資料であると思った。その思いが実現しつつあることを喜ばしく思う。

今後の日本労働史研究の発展に期待したい

一橋大学名誉教授 西成田豊

本資料集成の第Ⅱ期は法政大学大原社会問題研究所所蔵の協調会史料を編集したもので、1920年から35年頃までの労働・農業関係の貴重な史料がふんだんに盛り込まれている。私は30年以上にわたって、協調会史料をはじめ労働関係史料を収集してきたが、本資料集成には、私がほとんど見落としてきた希少性の高い資料群が多数収録されている。これらの資料を用いることによって日本労働史研究が新たに発展することを期待したい。

調査手法も注目される重要な資料

千葉大学教授 三宅明正

19世紀末から始まった日本の社会調査は、1910年代末から30年代にかけて、学者や民間機関、政府や地方行政機関により、対象を多様に広げつつ盛んに行われるようになった。協調会による労働者と農民の生活調査は、その内容が史料としての重要性を有するとともに、調査手法という点でも注目される性格をもっている。

実証的研究の糧として

元全労済理事長・元連合会長（故人） 鷲尾悦也

現代社会の基本構造が大きく転換しているといわれているが、本当にそうなのであろうかという疑問が湧く。そのような時こそ、地道な社会調査、資料検証が重要なのではあるまいか。そうした点からも大原社研が継続されている実証研究の成果は、多くの社会問題研究者のみならず、実践家にとっても貴重なものであり、大いに活用されんことを望むものである。

「社会調査」を重視せよ

中央大学名誉教授（故人） 江口英一

時代が激しく動き、多くの人々が「改革」を主張している。しかし、現在の社会のあり方を考えるさい、過去の庶民の生活がどのようなものであったかを抜きにした議論は本物とはいいいがたい。協調会が残した膨大な調査実績の中には、現在の社会の諸問題を解明するカギがある。近年「社会調査」を軽んずる風潮があるが、「社会調査」で発見された事実の中にこそ正しい理論が見出されるのである。

現状との対比にも有益な史料

元農業・農協問題研究所理事長 暉峻衆三

この資料集成に収められている調査報告は、昭和恐慌期から太平洋戦争末期にかけての農村・農業の動向について今となっては得難い史料ばかりだ。史料は、当時の農家経営、農家兼業と労働力問題、「満州移民」などの克明な実態調査をふくんでいる。たんに農業・農民問題の歴史研究者ばかりでなく、現状研究者にとっても現状と対比できる有益な史料だ。

地域史の貴重な資料群

大阪市立大学特任教授 広川禎秀

大原社研の協調会資料は、社会問題・社会運動の資料群としては周知の資料であったが、あらためてこれを地域史の貴重な資料群として積極的に活用する必要があると思う。膨大な資料の全体的把握と利用は容易でなかったが、高橋彦博氏らの尽力でそれが可能となりつつあり、本資料集成刊行による研究上の便宜はきわめて大きい。第Ⅱ期には、米騒動後の行政や地域の新たな動向を把握するうえで貴重な資料が多数含まれている。

敬意に値する編集と解説

元大阪経済大学学長（故人） 山田達夫

膨大な資料の編集・解説に当たられた高橋彦博先生は大原社研の協調会研究会の方々に、まず敬意を表したい。大正末から敗戦までの都市・農村の生活の多様な実態調査結果が明らかになる意義はきわめて大きいし、また、調査目的や独自の手法などから、協調会自体の性格・評価をふくんでいる点も注目される。

【関連資料・マイクロフィルム版】

協調会史料 日本社会労働運動資料集成(全2期)

法政大学大原社会問題研究所 監修
協調会研究会 編集・解説

第Ⅰ期(情報課・労働課保存版、1920～30年代) 全114リール(セット2函)
揃定価(本体2,600,000円+税)
第Ⅱ期(1931～40年) 全62リール(セット1函)
揃定価(本体1,500,000円+税)

協調会史料

都市・農村生活調査資料集成

全2期

全24巻

本資料集の特長

- ①協調会自身が直接おこなった実態調査の主要なものに加え、協調会の部局単位で収集・保管された協調会本部所蔵の調査記録類を集成。協調会の調査活動の全貌が初めて明らかに、その全面的活用が可能になった。
- ②大正末期から敗戦直前までの都市生活と農村生活の実態が明らかに。
- ③調査テーマが社会問題から労働問題、農村問題まで多岐にわたるほか、全国調査あり、定点観測あり、識者による審議結果あり、協会スタッフによる研究・分析ありとその内容が豊かである。
- ④定期的に作成された「労働問題調査資料」「農村問題資料」により、都市生活、農村生活それぞれのテーマにおいて時系列に沿った調査活動の変遷を把握できる。
- ⑤トーカーをめぐる映画館争議や失業者問題に関する最初期の綿密な調査など、一九二〇～三〇年代の都市生活の実態にアプローチ可能な多彩な資料を収録した。
- ⑥一九二〇年代の前半から後半にかけての警察・内務省も把握していない貴重な農村生活実態調査の記録が明らかとなる。
- ⑦孔版（ガリ版）、手書き資料を中心とした希少性の高い資料群、極秘扱いの資料も多数収録。
- ⑧マイクロフィルム版『協調会史料 日本社会労働運動資料集成』（全2期）と併用することで、大正末期から第二次大戦直前にかけての労働者、農民の生活実態が把握できる。
- ⑨専門家による解説では、協調会の組織の実態と変遷が明らかにされ、調査活動を担った人々の人物像も描かれている。協調会の性格と活動を追究することを通して、戦前社会の抱えた諸問題にも迫るとともに、社会問題、労働問題、農村問題、農村問題それぞれの観点から収録資料の詳細な解説がなされている。

【おすすめします】

日本近代史
日本政治史
社会政策
労働問題
農業・農民問題
日本社会史
社会学
社会調査
生活学
民俗学
大学図書館
公共図書館

柏書房

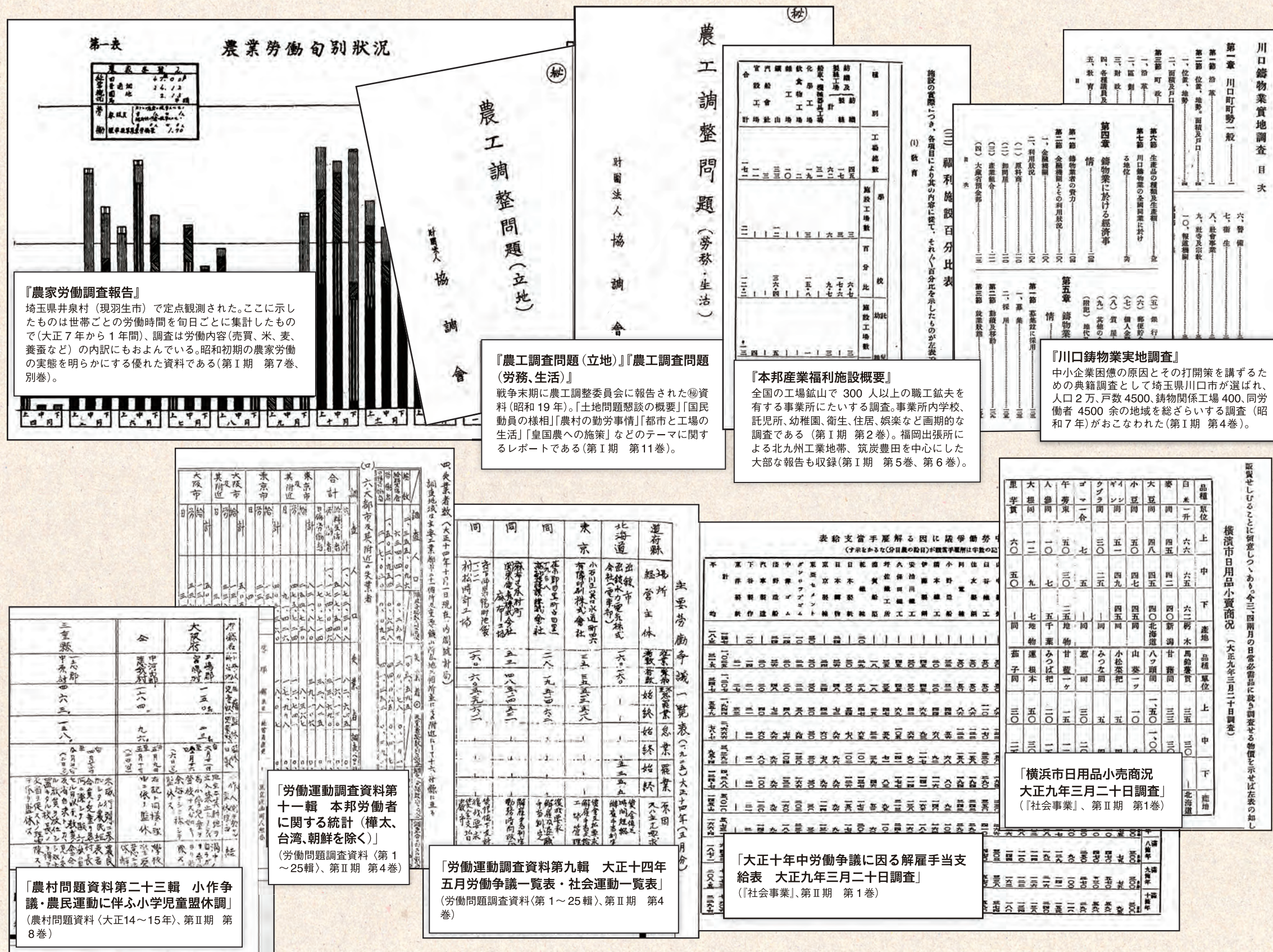
取扱店	
-----	--

2017.1

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13 Tel 03-3830-1891 Fax 03-3830-5337 URL <http://www.kashiwashobo.co.jp> E-mail eigy@kashiwashobo.co.jp

広範かつ多彩な調査テーマ…… 様々な研究分野で汎用可能な協調会本部所蔵資料群を公開する



生計調査、家賃調査、工場調査、労働者教育、農家労働、更正農村、 農工調整問題、満州移民計画……

全巻構成

〈第Ⅰ期〉

- 第1巻 都市生活編 1
解題（高橋彦博・梅田俊英・横関至）／協調会宣言に就て／協調会の目的及事業に就て／『自大正十年六月至同十一年五月 俸給生活者・職工生計調査（報告）大正14年』
- 第2巻 都市生活編 2
『全国家賃調査』（第1回～第3回）（大正10～12年）／『本邦産業福利施設概要』（大正13年）
- 第3巻 都市生活編 3
大正十年中労働争議に因る解雇手当支給表（大正10年）／協調会経営託児所及簡易宿泊所概要（大正14年）／我国に於ける労働委員会制度』（大正15年）／全国工場鉱山 労働者教育協議会記録（昭和2年）／昭和八年度工場調査（昭和8年）／静岡県足柄村ニ於ケル職工事情調査（大正9年）／工場鉱山に於ける職業再教育施設状況（昭和2年）
- 第4巻 都市生活編 4
『川口鑄物業実地調査』（昭和8年）／『川口鑄物工場診断』（昭和8年）
- 第5巻 都市生活編 5
『西日本に於ける産業福利施設』（昭和13年）
- 第6巻 都市生活編 6
『西日本に於ける産業福利施設』（昭和13年）
- 第7巻 農村生活編 1
『井泉村勢概要』（昭和8年）／『農家経済の自給並に購入の実態と改善——井泉村農家必需品の自給並に購入状況調』（昭和9年）／『自昭和七年四月至昭和八年三月 農家労働調査報告——井泉村農家経済調査（前編）』（昭和9年）
- 第8巻 農村生活編 2
『小作争議地に於ける農村事情の変化』（昭和3年）／『小作争議地に於ける農村事情』（昭和9年）／『満洲農業の移民計画——一般方針及実行方策』（昭和8年）
- 第9巻 農村生活編 3
『更生農村の模範的事例』（昭和9年）
- 第10巻 農村生活編 4
『近郊農村と最近の勞力移動——農村実地調査報告』（昭和14年）／『全国一千農家の経済近況調査』（昭和14年）
- 第11巻 農村生活編 5
『事变下の農村諸問題』（昭和14年）／『事变下近郊農村の実相』（昭和14年）／『時局下関西農村の種々相』（昭和15年）／『村と共同作業——農村部落聴取調査報告』（昭和17年）／『農村調査覚書——農村調査・農村診断』（昭和18年）／『農工調整問題（立地）』（昭和19年）／『農工調整問題（労務・生活）』（昭和19年）
- 別巻
『自大正十年六月至同十一年五月 俸給生活者・職工生計調査報告』（表）／『農家労働調査報告』（グラフ）

〈第Ⅱ期〉

- 第1巻 都市生活編 1
解題（高橋彦博・梅田俊英・横関至）／『社会事業』（大正9～11年）
- 第2巻 都市生活編 2
『解雇手当及其ノ規定ニ関スル調査ト一覧統計表』（大正10・11年）／『失業者問題』（大正11・12年）
- 第3巻 都市生活編 3
『海軍職工解雇問題』（大正13年）／『大正十三年下半期の労働運動』（大正14年）
- 第4巻 都市生活編 4
労働問題調査資料（第1～25輯）（大正14・15年）
- 第5巻 都市生活編 5
労働問題調査資料（第26～45輯）（昭和2～7年）
- 第6巻 都市生活編 6
『労働問題調査資料 昭和七年』（昭和7年）
- 第7巻 農村生活編 1
『農業対商工業の關係 其一』（大正13年）／『農村事情に関する調査』（大正13年）／『農村事情に関する調査 第2輯』（大正13年）／『農村事情に関する調査 第3輯』（大正14年）
- 第8巻 農村生活編 2
農村問題資料（大正14・15年）
- 第9巻 農村生活編 3
農村問題資料（昭和2年）
- 第10巻 農村生活編 4
農村問題資料（昭和3～5年）
- 第11巻 農村生活編 5
農村問題資料（昭和6・7年）
- 第12巻 農村生活編 6
農村問題資料（昭和8～10年）